



2024 年度事業計画

一般社団法人沼津青年会議所

基本理念

未来を見据えた地域の創造と人材の育成

基本方針

1. 地域の未来を考え、行動できる人材の育成
2. 共に未来を考えることの出来る、まちづくり
3. 地域に必要とされ、愛される組織
4. 理念に共感し、共に活動する同志を増やす

2024年度 沼津 JC スローガン

未来の為に、^い ^ま 現在ここで

2024年度 理事長所信

理事長 大川 皓平

【はじめに】

敗戦により荒廃したこの国と地域の再建に責任を負い、次代の指導者たらんとする青年が集い1954年3月に設立された沼津青年会議所は本年70周年を迎えることが出来ました。創始より今日まで築き上げ、ご尽力いただきました先輩諸兄姉の皆様、本会の活動にご理解、ご支援を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

我々は創立以来、「修練・奉仕・友情」からなる三信条、明るい豊かな社会の創造といった基本的な精神と、メンバーの定年制、単年度制の組織体制、本質を議論する会議運営等の青年会議所ならではの特質を受け継ぎ維持しながらも、同時に時代の変化に合わせて「あり方」や「やり方」を柔軟に変化させながら、その時々々の社会課題に向き合い、深く考え、積極的に将来に向けての行動を興してきました。

70周年という節目を迎え、今一度創立時の精神に立ち返りつつも、社会の変化にも柔軟に対応した組織とし、この地域の未来を明るい豊かな社会にする為に行動し続けることを誓います。

【地域の未来の為に】

我々が住むこのまちは、時を経て少しずつ複数の地域が合併して出来たという歴史的な背景と、広い面積を持つという特性から、市民としての一体感や連帯意識が希薄になりがちであると感じています。まちの一体感は、社会の発展と調和の取れた成長にとって極めて重要な要素です。このまちの将来を考えより良くしようと行動を起こす時、個々人が思い思いに取り組むよりも、まち全体で共に手を取り合い取り組む方がより大きな効果が望めるでしょう。地域のお祭りや地域を取り巻く様々な行事で心が一つとなり郷土愛や一体感が芽生えるように、共通の活動や経験は一体感を生む良い機会であると考えます。

これからの沼津市のさらなる発展のため、次世代を担う若き人材へ深い郷土愛を醸成しながらも、その視野を広げ、多様な価値や文化を学ぶ機会を提供します。

【次代を担うリーダーの育成】

青年会議所はいつの時代もリーダーの育成を目標としてきました。沼津青年会議所設立趣意書には我々が次代のリーダーとなる為「健全なる思想と新鮮にて豊富なる知識を涵養し、且つ人格を陶冶せんが為、同時代の青年相互の切磋琢磨によって、先ず自らを修練しなければならぬ」とあります。また青年会議所は20～40歳までの定年制を採用しており、

常に構成メンバーが入れ替わっていくという特質があります。組織力を維持し向上させていく為に、新しく入ってくるメンバーに対して常に青年会議所の理念教育と資質向上を図ってきました。しかし、近年のコロナ禍に対応した青年会議所活動の変化の影響もあり、青年会議所で得られる機会が減少し、参加意欲の低下と共に会員の資質向上が進んでいないように感じます。

メンバー各々がリーダーたんとする為、研修や青年会議所で得られる様々な機会を通して、仲間と共に自己を研鑽する意識を持つ。また、そういった志あるメンバーの為に効果的な研修事業を展開し、沼津青年会議所と地域の将来を見据え、素養と牽引力を備える次代のリーダーを育成します。

【理念拡大の為に会員拡大】

この数年間、沼津青年会議所では会員数の減少から会員拡大が叫ばれ続けています。在籍年数や経験の浅いメンバーが増えた今、それぞれが拡大活動に責任を持ち自発的に行動するために、改めて会員拡大がなぜ必要であり大切なかを認識し理解することが必要です。

まず理解していただきたい点として、会員拡大は、共通の目標や価値観を共有する同志を増やすことと同義だという点です。青年会議所の理念に共感し、活動を共にする同志が増えるということは、我々の運動により広がり生まれ、地域により大きなインパクトを与えることが出来るようになります。また、多くの仲間と活動するという事は、自らとは違う多様な考えを持った仲間と議論をするということであり、新しいアイデアや視点に触れる機会が増え、自らの成長と組織の進化につながります。

さらにメンバー一人ひとりが沼津青年会議所に所属していることに誇りを持ち、自信をもって活動や運動を語ることができれば会員拡大につながり、お互いを高め合う仲間が増え、共に地域の未来を考え活動する同志を増やすことにつながることが出来ます。

【得られる機会の最大化】

青年会議所に入会したメンバーには誰にでも均しく 4 つの機会が与えられます。事業構築の過程でリーダーシップを学ぶことのできる「個人の機会」。活動を通じて行政や各地の組織、団体と関係を構築することのできる「地域の機会」。世界大会や ASPAC、姉妹 LOM との交流などで世界とつながることのできる「国際の機会」。そして多くの人との出会いや各種プログラム、セミナーを通じて青年経済人として成長することのできる「ビジネスの機会」です。これらの機会は沼津青年会議所の中でだけ活動していても得ることが出来ますが、それだけでは十分とは言えません。公益社団法人日本青年会議所、東海地区協議会、静岡ブロック協議会が展開する様々な事業に参加することや、出向をすることで得られる機会を最大化することができ、入会したメリットを享受することが出来ます。

自己の成長のために、目の前にある機会に漫然と臨むのではなく、自らの糧とするべく目的意識を持ち積極的に機会を掴みに行く意識が重要となります。

【理解者・協力者を増やすための広報】

情報技術の発達した現代では情報を発信するツールは数多く存在します。にも拘わらず沼津青年会議所の活動や運動が、この地域の方たちに広く周知されているとは言えません。なぜ広報が必要か。まず我々の活動を知っていただき、理解者となっただく。そして、協力者となっただくことで、沼津青年会議所の運動がメンバーだけでなく、多くのフォロワーと共に広範に展開していくことが可能になり「明るい豊かな社会」の実現への運動の推進力を増やすことが可能です。その為に発信する情報の密度と質を高め、我々の活動が地域の方たちの目に触れる機会を増やします。また、多くの方と協働すること、情報交換することは沼津青年会議所と地域の活性化にもつながります。

【さいごに】

我々にとって70周年は通過点であり、ゴールではありません。明るい豊かな社会の実現の為には行動し続けなければなりません。また我々が地域に愛され、必要とされる団体であり続ける為にも、地域の未来を考え行動し続け、地域のリーダーとなる人材を育成し輩出し続ける必要があります。

簡単なことではありません。楽しいことだけでもありません。大変なこと、辛いこともいっぱいあります。挫折することもあるでしょう。それでも、40歳になり卒業するまでの限られた時間、全力で、真剣にやってみましょう。人生の一時期、沼津青年会議所に所属したことを誇りと思えるように、その後の人生をより豊かなものにする何かを得ることが出来るように。一人ではありません。我々には仲間がいます。沼津だけではなく。日本中に、世界中に同志がいます。一人では無理でも、仲間となら乗り越えられるでしょう。一人では無理でも、同志となら実現できるでしょう。

70周年のその先の未来の為、共に力を合わせ邁進してまいりましょう。

出 向 者

◎東海地区協議会 出向者

東海コンファレンス2024運営委員会

堀江 直樹

◎静岡ブロック協議会 出向者

筆 頭 副 会 長

大川 皓平

ア カ デ ミ ー 委 員 会

小林 英太郎

松田 翔太

地 域 経 済 向 上 委 員 会

井口 智史

魅力あふれる静岡創造委員会

鈴木 佑貴

渡邊 真太郎

ブロック大会実行委員会

堀江 直樹

◎行政等委任委員

沼津駅の高架化を実現する市民の会 副会長	理 事 長
エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長
沼津市社会福祉協議会 評議員	理 事 長
沼津市特別職報酬審議会 委員	理 事 長
沼津市市民憲章推進協議会	小 澤 隆
沼津夏まつり実行委員会	小 澤 隆
沼津国際交流協会 理事	小 澤 隆
沼津市暴力追放推進協議会 監事	小 野 大 輔
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	小 野 大 輔
エフエムぬまづ番組審議委員会	小 野 大 輔
燦々ぬまづ推進委員会	山 下 太 一
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	山 下 太 一
沼津市緑化推進協議会	山 下 太 一
沼津駅高架化を実現する市民の会 事務局	専 務 理 事
公益財団法人沼津市振興公社 理事	専 務 理 事
沼津市明るい選挙推進協議会	専 務 理 事

2024年度例会担当表

月	総 会		第1例会	
1			18 (木)	渉外・広報委員会 新年賀詞交歓会
2	16 (金)	総務・財務委員会 定時総会	8 (木)	会員・研修委員会
3			2 (土)	渉外・広報委員会 東部9JC合同公式訪問例会
4			6 (土)	まちづくり委員会 沼津JCデー・70周年記念式典
5			12 (日)	総務・財務委員会 第3回会員会議所会議
6			7 (金)	会員・研修委員会
7			26 (金)	まちづくり委員会 狩野川灯ろう流し
8	8 (木)	総務・財務委員会 定時総会	8 (木)	総務・財務委員会 定時総会
9			8 (日)	渉外・広報委員会 第57回静岡ブロック大会
10			8 (火)	会員・研修委員会 新入会員育成セミナー最終会議
11			8 (金)	まちづくり委員会
12	2 (月)	総務・財務委員会 定時総会	9 (月)	会員・研修委員会 卒業式・卒業生を送る会

定例会議・委員会日

会合日	会 合 名	時 間	場 所
第1水曜日	正副理事長会議	19:30～21:30	JCルーム
第3水曜日	理事会	19:30～21:30	JCルーム
8日	第1例会		
各月末日	財務審査	19:30～21:00	JCルーム
定例会議日	第4火曜日	渉外・広報委員会	19:30～21:30
	第3金曜日	まちづくり委員会	19:00～21:00
	毎月22日	総務・財務委員会	19:30～21:30
	第3木曜日	会員・研修委員会	19:30～21:30

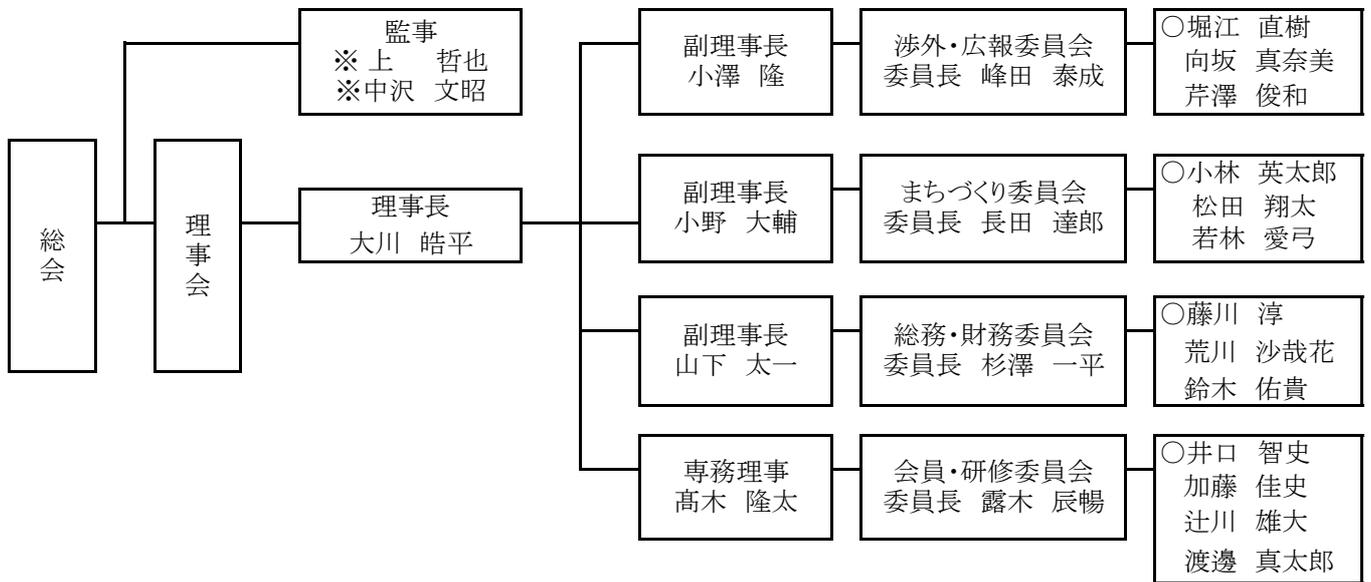
担当委員会 委員会開催日	JCルーム清掃日	21:30～
--------------	----------	--------

2024年度 公式日程

	日本JC・JCI	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	18日(木)～21日(日) 京都会議 20日(土) 総会 (京都)		28日(日) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		18日(木) 第1例会 新年賀詞交歓会	17日(水)
2月					8日(木) 第1例会 16日(金) 定時総会	21日(水)
3月	23日(土) 総会 (東京)		3日(日) 第2回会員会議所会議 (榛南)		2日(土) 第1例会 東部9JC合同公式訪問例会	21日(木)
4月					6日(土) 第1例会 沼津JCデー・70周年記念式典	17日(水)
5月			12日(日) 第3回会員会議所会議 (沼津)		12日(日) 第1例会 第3回会員会議所会議	15日(水)
6月	6日(木)～9日(日) JCI ASPAC (カンボジア)		16日(日) 第4回会員会議所会議 (榛南)		7日(金) 第1例会	19日(水)
7月	20日(土)～21日(日) サマーコンファレンス (横浜)	6日(土) 東海コンファレンス2024 (岐阜)			26日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	17日(水)
8月					8日(木) 第1例会 定時総会	21日(水)
9月			7日(土) 第5回会員会議所会議 (島田) 8日(日) 第57回静岡ブロック大会 (島田)		8日(日) 第1例会 第57回静岡ブロック大会	18日(水)
10月	3日(木)～6日(日) 全国大会(福岡) 4日(金) 総会 30日(木)～ JCI 世界会議 (台湾)		20日(日) 第6回会員会議所会議 第2回出向者合同会議 (浜松)		8日(火) 第1例会 新入会員育成セミナー最終会議	16日(水)
11月	3日(日) JCI 世界会議 (台湾)				8日(金) 第1例会	20日(水)
12月			6日(金) 第7回会員会議所会議 (在宅)		2日(月) 定時総会 9日(月) 第1例会 卒業式	18日(水)

一般社団法人沼津青年会議所

2024年度 組織図



※特別会員
○副委員長

特別會員

- 59 故 宇野 紳七郎 (03年永眠)
61 故 野田 修 (15年永眠)
62 故 高橋 明 (15年永眠)
63 故 山内 益次郎 (06年永眠)
67 故 中山 欽司 (94年永眠)
故 石川 三雄 (90年永眠)
68 友森 寛
69 水口 昌夫
71 故 大井 一郎 (16年永眠)
故 白壁 敏夫 (09年永眠)
故 鈴木 昭身 (21年永眠)
故 辻 昌吉 (05年永眠)
故 中川 茂男 (03年永眠)
故 中西 幸雄 (06年永眠)
72 故 後藤 全弘 (19年永眠)
故 保坂 静夫 (15年永眠)
故 上 作一 (93年永眠)
故 安田 昌訓 (93年永眠)
73 上田 雅義
故 植松 清高 (13年永眠)
大木 一男
故 金井 敬策 (08年永眠)
故 長谷川 愛次 (06年永眠)
故 松浦 喜男 (03年永眠)
74 市川 厚 (23年永眠)
片岡 一郎
故 加藤 晴俊 (99年永眠)
小林 日出男
故 杉本 節生 (22年永眠)
杉山 一義
高橋 啓之
故 立木 栄一 (07年永眠)
故 早崎 恒治 (11年永眠)
故 北条 利郎 (10年永眠)
75 故 大川 順康 (10年永眠)
故 庄司 睦 (22年永眠)
故 田中 穂積 (98年永眠)
出木 超
野田 久雄
故 古郡 安雄 (11年永眠)
星谷 泰男
故 松田 久義 (03年永眠)
故 渡辺 孝雄 (04年永眠)
76 故 池田 雅博 (22年永眠)
小西川 俊吾
故 柴田 栄吉 (11年永眠)
故 清 俊夫 (96年永眠)
高村 政明
坂東 功一
故 渡辺 良太郎 (17年永眠)
故 市川 治男 (88年永眠)
77 故 遠藤 康昌 (02年永眠)
- 故 岡田 剛武 (19年永眠)
菊地 俊雄
佐藤 徳太郎 (22年永眠)
故 佐藤 亘弘 (07年永眠)
故 平山 義人 (98年永眠)
故 山田 喜万 (16年永眠)
故 吉田 修 (93年永眠)
78 故 大川 正夫 (12年永眠)
故 近藤 安敏 (16年永眠)
杉山 実
故 名取 賢吉 (17年永眠)
真島 秀行
79 秋山 芳生
小川 義次
影山 桓義
故 桑原 史雄 (96年永眠)
故 鈴木 皓一郎 (02年永眠)
故 高村 光治 (16年永眠)
80 故 石井 種生 (16年永眠)
今井 俊之
諏訪部 恭一
持田 真幸
81 故 伊藤 豪俊 (09年永眠)
小笹 皓平
小林 健次郎
白鳥 篤
故 南谷 直美 (19年永眠)
82 芦川 稔
小笠原 一夫
金刺 勝
杉山 勲
宮沢 健二
村松 佳雄
83 故 内野 鉄紀 (07年永眠)
故 小野 恭嗣 (12年永眠)
掛橋 弘
故 瀬戸 和海 (09年永眠)
竜野 輝夫
原 富太郎
増田 陽三
水田 嘉昭
84 金崎 明弘
故 城所 延芳 (10年永眠)
後藤 靖雄
鈴木 隆義
高橋 浩
前田 唯良
85 宇野 統彦
杉山 宏幸
鈴木 敏
辻 進
土屋 照夫
長橋 和彦
野永 巖
村松 敏弘
渡辺 洋
86 榊原 進
故 佐々木 浩男 (16年永眠)
故 佐藤 光義 (22年永眠)
故 鈴木 一信 (97年永眠)
長谷川 徹
一杉 秀二
故 藤原 規夫 (16年永眠)
故 宮代 定典 (15年永眠)
山形 晋一
87 故 浅見 正昭 (13年永眠)
芦川 勝年
一場 道彦
- 岩崎 英一
近藤 剛
酒井 吉彦
三高 正明
関原 規由
堤 正喜
長澤 芳明
故 久松 繁 (99年永眠)
山田 憲市
88 石川 利郎
植松 哲
故 長田 豊久 (11年永眠)
木村 保成
栗田 満
向坂 義次
庄司 一洋
杉山 裕将
高橋 正
長橋 靖
日吉 照郎
故 本多 均 (13年永眠)
故 大橋 博 (90年永眠)
89 赤堀 肇紀
居山 直行 (14年永眠)
古地 利和
長谷川 均
濱道 知
原 俊範
廣瀬 進一郎
藤田 昇
故 松下 方文 (18年永眠)
山田 薫
90 芦川 豊
故 稲木 祥雄 (12年永眠)
大池 誠実
木村 雅志
故 鈴木 啓司 (23年永眠)
故 高橋 新一 (07年永眠)
安田 政義
91 板井 義文
佐川 康夫
勸山 光明
高村 誠
土佐谷 和貴
山下 光彦
92 岩下 龍雄
故 植松 郁男 (03年永眠)
故 江本 宗昭 (21年永眠)
大嶽 輝晃
大嶽 稔裕
尾崎 敬治
加藤 進
工藤 恵子
後藤 正明
後藤 行宏
後藤 山正則
鈴木 一郎
93 故 石原 正和 (18年永眠)
井上 孝喜
尾澤 裕
小原 嘉弘
神部 藤男
五味 芳道
庄司 喜則
辻村 浜夫
平林 秀夫
前田 章
前田 耕輔
望月 達也
山本 豊一
94 綾部 恵市
石川 秀雄
江藤 晃好
大橋 英司
柏木 順孝
金井 隆直
神農 泰彦
後藤 健
- 佐藤 直毅
庄司 邦夫
外 信之
田中 治之
牧野 栄一郎
山口 和一
山田 和彦
95 井草 基之
故 岩崎 一弘 (13年永眠)
岡本 隆行
塩崎 享一
島本 祐史
鈴木 伯明
鈴木 泰博
水口 隆太
米山 明德
96 石井 裕
遠藤 利彦
佐々木 敏祐
杉山 由博
鈴木 延孝
鈴木 正之
松井 泰樹
97 石川 雄一郎
井村 和弘
尾和 康男
影島 山弘
加藤 修一
栗田 恵市
桜井 康雄
庄司 喜一郎
田代 功
藤江 浩
森田 州治
山口 和也
98 金澤 清文
上 精一郎
故 近藤 恒二郎 (01年永眠)
故 佐藤 浩人 (17年永眠)
鈴木 一
名取 正純
増山 敬一
宮澤 英紀
渡邊 聡
99 故 秋山 佳彦 (17年永眠)
稲葉 茂
梅島 佐一
遠藤 豪
長田 健一
柏木 雅博
上條 篤士
木村 光正
工藤 政則
久保田 実
近藤 千秋
後藤 竜樹
青藤 和子
塩崎 栄一 (04年永眠)
故 鈴木 孝明 (06年永眠)
高橋 誠
土屋 英治
土屋 恭博
袴田 敏照
橋本 賢一
保坂 孝始
故 峯村 重輝 (06年永眠)
渡邊 朗
00 井口 清
大野 哲
大場 公嘉
岡元 貴宏
柏木 剛示
木村 幸男
小林 龍司
鈴木 俊史
鈴木 康哲
芹沢 一幸
竹内 純子
徳田 和人
土井 宣博
中野 幸浩
野秋 和弘
服部 徹一郎
服部 隆利
福島 洋一郎
横山 政遵
01 市川 浩康
植松 清仁
- 荻原 誠
小野 弘人
加藤 功
白壁 圭一
高橋 卓己
平野 裕行
吉野 聖一
渡辺 周
02 石渡 慎一
小出 國雄
近藤 浩志
齋藤 一臣
齋藤 哲一
齋藤 泰隆
庄司 孝喜
鈴木 章喜
服部 喜和
平山 晴久
松下 智美
宮坂 紀代一
村山 知亮
山本 宜司
03 池田 宏明
伊藤 隆太
大村 英彰
奥村 泰宏
小野 茂
小野 博文
加藤 元章
金子 俊道
川口 博
國武 賢一
後藤 正樹
清水 英一郎
鈴木 誠
故 吉川 直人 (17年永眠)
渡邊 豊
04 故 青木 秀実 (23年永眠)
青嶋 隆憲
池田 康男
池田 由佳
石川 佐和子
市川 道隆
岸本 隆一
小林 惠美子
小林 俊彦
近藤 孝
高木 浩
高木 光浩
永田 健一郎
福室 強
室伏 智昭
山崎 真一
05 飯田 太志
大石 将勝
大澤 智幸
工藤 俊彦
栗原 卓也
杉山 雅樹
清谷 登浩
露木 育男
山口 育男
06 井出 尚武
大城 一真
岡田 貴之
原 政彦
平野 正裕
前田 泰広
07 伊海 康之
植松 豊守
木村 太郎
小林 晃
神原 浩之
白壁 克美
鈴木 基幸
松本 優紀子
三須 王左武
08 伊藤 謙志
居山 哲也
岩井 茂樹
小畑 秀明
倉田 裕之
原川 宜与
藤島 章弘
山下 和信
渡辺 迅
09 芦澤 剛彦
故 小笠原 啓之 (17年永眠)
- 柴田 博司
土屋 雅一
土屋 雄一郎
堤 昭人
武藤 政敏
室伏 誠
10 井草 雅彦
小笹 真也
川口 浩一 (19年永眠)
芹澤 剛
原田 浩一
松田 一哉
米山 健
11 金子 恭子
軍司 芳孝
小早川 幸磁
故 榊原 優子 (21年永眠)
二俣 延行
12 種田 善一
小平 賢一
菅沼 俊介
諏訪部 稔
半田 健治
渡邊 勝也
13 小山 弘道
諏訪部 惠志
高木 剛
橋 泰正
山田 奈帆美
米元 孝一
14 勝又 康充
柴田 常有
菅布川 麻紀子
多久島 正邦
15 池田 高士
加藤 明子
川口 真澄
児島 佳代
杉澤 敬人
園田 勝
十八島 玲滋
長島 浄美
宮下 秀人
16 遠藤 啓太
大村 智紀
岡田 貴幸
勝俣 孝友
木村 友一
鈴木 一範
鈴木 智善
武田 始久
土田 智保
宮内 昌弘
村松 弘充
森 拓也
山下 剛嗣
17 海野 雅貴
佐藤 将行
佐野 雅文
藤原 維仁
八木 航一
18 天野 健太郎
小野 好之
上 哲也
木村 昌宏
後藤 裕良
長橋 謙介
19 伊藤 康広
金子 直史
清水 孝文
原田 健一
細溝 剛久
山本 真太郎
20 佐々木 綱柄
中沢 文昭
21 杉澤 研三
鈴木 宏和

入会年度年齢表

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	生年 (年齢)	卒業 人数
					山下				芹澤					84 (40)	2
向坂							小澤						加藤	85 (39)	3
										若林			荒川 井口 鈴木	86 (38)	4
						太川							杉澤	87 (37)	2
						峰田				辻川			渡邊	88 (36)	3
														89 (35)	0
						高木						長田	小林	90 (34)	3
														91 (33)	0
									小野	藤川				92 (32)	2
										堀江				93 (31)	1
														94 (30)	0
														95 (29)	0
														96 (28)	0
													松田	97 (27)	1
												露木		98 (26)	1

※アンダーバーは早生まれ